

2023年3月24日

国立大学法人東京農工大学
 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

東京農工大学とあいおいニッセイ同和損保が包括連携協定を締結 ～安全・安心なクルマ社会の実現に向け、自動車事故データを分析する共同研究等を開始～

国立大学法人東京農工大学（学長：千葉 一裕/以下、東京農工大学）とMS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介/以下、あいおいニッセイ同和損保）は、3月23日に包括連携協定を締結し、自動車事故データの分析等を通じて安全・安心なクルマ社会の実現に向けた共同研究を開始しましたので、お知らせします。

1. 協定の背景

東京農工大学は、「地球を回そう MORE SENSE（使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力）」を基本理念として掲げ、農学、工学およびその融合領域分野における科学的探究を通じて、21世紀の人類が直面する課題解決に向けて教育・研究を実施しています。また、あいおいニッセイ同和損保は、中期経営計画の核となる考え方である「CSV×DX」※に基づき、社会・地域課題の解決に資する新たな保険商品やサービスの提供拡充に努めています。

今般、両者が持つ独自の知見・データを活用した共同研究を通じて、自動車事故や大規模災害による被害軽減につながる新たなソリューションの創造等を目指し、包括連携協定を締結することとしました。

※ CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

2. 協定の概要

(1) 主な協定事項

協定事項	取り組みイメージ
共同研究の実施及び研究成果等の活用促進	・ 安全・安心なクルマ社会の実現に向け、あいおいニッセイ同和損保の自動車事故データを分析した共同研究を実施
地方創生、社会・地域課題の解決に関する共同取組	・ 両者が持つ独自の知見・ノウハウを有効活用した、自然災害対策に関するセミナー開催を検討
産学官連携による人材交流、人材育成	・ 起業・創業に関する人材育成等、東京農工大学の高度人材養成プログラムにおける協働を検討



東京農工大学 学長 千葉 一裕
 あいおいニッセイ同和損保 代表取締役社長 新納 啓介

(2) 自動車事故データ活用した共同研究

東京農工大学は、ドライブレコーダー映像から取得した「ヒヤリハットデータ」の分析等を通じて、自動運転車の安全性評価用の事故シナリオを作成する等、先駆的な研究を行っています。また、あいおいニッセイ同和損保は、地球約 238 万周分（2022 年 12 月時点）の自動車走行データを保有しており、通信機能付きドライブレコーダー等から取得できる衝突時の映像を AI で解析し、相手車両の速度や走行軌跡を割り出すなど、データ利活用のノウハウを蓄積しています。

両者のデータ分析ノウハウを活用し、あいおいニッセイ同和損保が保有する膨大な自動車事故データを分析することで、安全・安心なクルマ社会の実現に資する新たなソリューションの創造を目指します。

<共同研究のイメージ>



3. 今後の展開

東京農工大学は、保険会社と初めて包括連携協定を締結しました。農学、工学およびその融合領域など幅広い分野で、共同研究や社会・地域課題の解決に関する取り組みを進めていきます。

あいおいニッセイ同和損保も農学部・工学部を有する国立大学法人との包括連携協定の締結は初であり、高度な研究ノウハウに基づく新たなアプローチによって事業機会を創出していきます。

今後、両者の取り組み目的やビジョンに共感する企業・地方公共団体へ研究成果等を開放し、様々なパートナーシップを構築することでビジネスを共創し、社会・地域課題の解決を目指していきます。

<お問い合わせ先>

- ・東京農工大学 教学支援部 研究支援課 塚本 / 遠藤
TEL : 042-367-5944
- ・あいおいニッセイ同和損保 広報部 広報室 鬼丸
TEL : 050-3461-7235